

コウノトリ

毎週月曜日更新



カタカタ通信

第37号

「コウノトリの夏 パートⅡ」

2022年8月29日

第35号では、熊谷花火大会に向けコウノトリが花火に驚き飛び回らないよう、小ケージへ移動させるための練習について投稿しました。今回は花火大会当日の様子をお話していきましょう。

熊谷花火大会は8月13日の予定でしたが、台風接近のため翌日の14日に延期となりました。そしていざ当日、小ケージへの扉を開け飼育スタッフ2人で徐々にコウノトリを誘導しました。一度花が飛んで逃げようとしたますが、徐々に近づくと花から小ケージの通路に入りました。続いて空もすぐに入ってくれました。

小ケージへの通路



コウノトリを小ケージへ誘導する様子

小ケージの扉を閉める作業中、空との距離は4mしかないですが、すぐにエサを食べ始めました。さすが空です。2羽で夕方の餌を食べ終わりあたりが暗くなってくると、池の近くで休息を取り始めました。



さっそく餌を食べる空

そして、いよいよ花火大会の時間です。19時30分頃、ドカ〜ンパラパラという音が始まりました。観察カメラで様子を見ると……2羽にそれほどの動きはありませんでした。花火の光がどれほど見えるのか心配でしたが、防風林の隙間から少し光が見える程度でした。打ち上げは約10分程度の時間でしたが、無事に終わりホッとしました。防風林周辺を歩く人影には、未だに驚き飛んで逃げますが、それより花火は驚かないようでした。大きな音より人間の方が怖いんだな、って誰かが言っていました。



花火の音が聞こえているときの空と花